資料－１

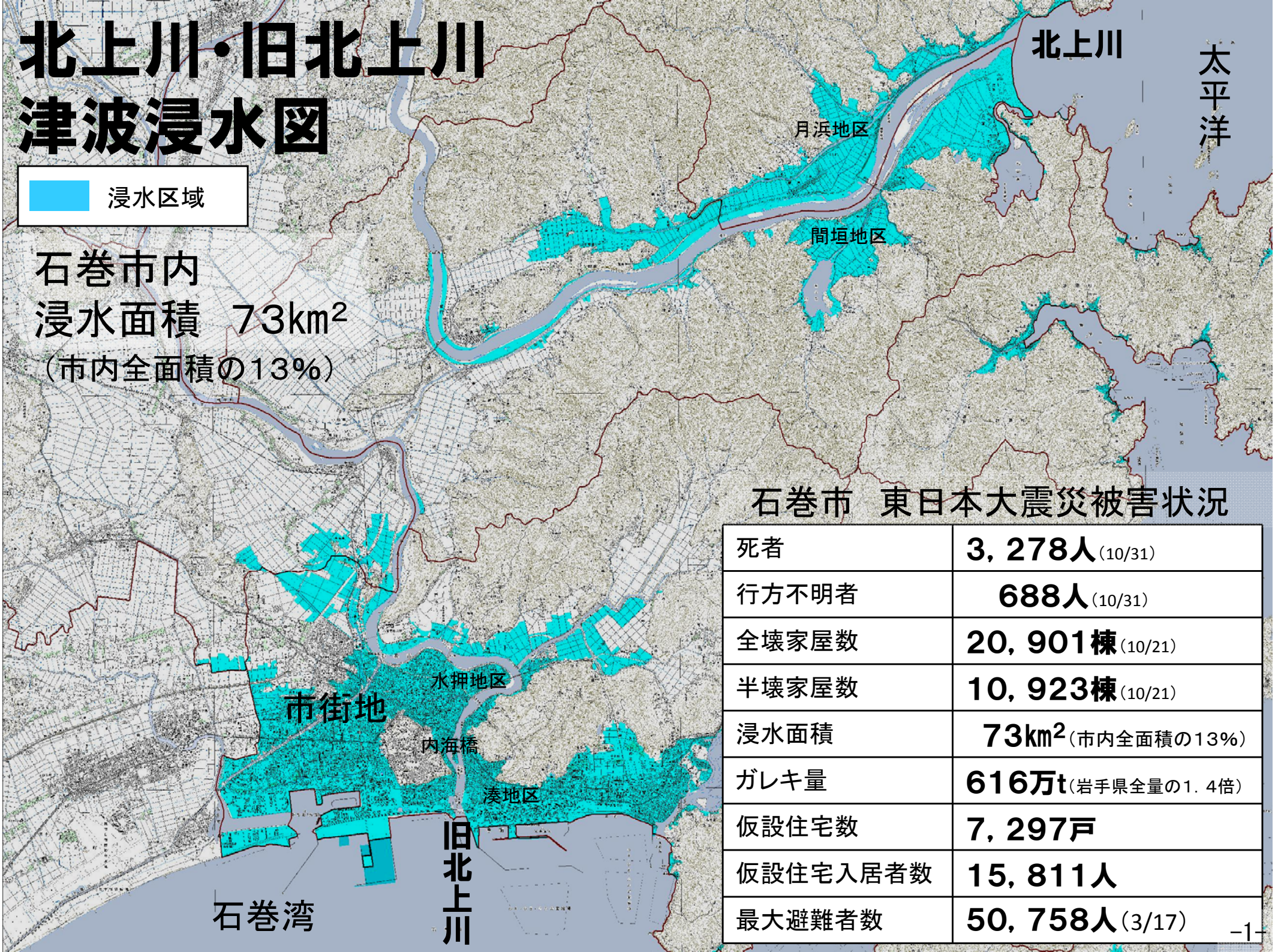
石 巻 市

石巻を襲った大津波と復興計画



旧北上川を遡った津波（３月１１日　１７時撮影）

北上川・旧北上川 津波浸水図



石巻市　東日本大震災被害状況

死者	3，278人（10/31）
行方不明者	688人（10/31）
全壊家屋数	20，901棟（10/21）
半壊家屋数	10，923棟（10/21）
浸水面積	73㎢（市内全面積の13%）
ガレキ量	616万t（岩手県全量の1．4倍）
仮設住宅数	7，297戸
仮設住宅入居者数	15，811人
最大避難者数	50，758人（3/17）



旧北上川に架かる内海橋（河口から約2．4km）



旧北上川左岸　湊地区（住宅地）

津波
映像



旧北上川を遡った津波　水押付近（河口から約6km）

石巻日日新聞社　撮影



北上川右岸　間垣地区　破堤箇所（河口から約4km）

北　上　川



津波
映像

北上川左岸　月浜地区（河口から約2km）

大震災被害要因一覧

直接被害	間接被害	防災上の課題
① 既設海岸堤防（チリ津波対応完）は津波を防御できなかった ② 昭和35年のチリ地震津波を教訓として地盤を高くした雄勝地区でも津波により被災 ③ 石巻漁港など港は津波防御施設が無いため、背後地の住宅まで津波被害が及んだ **④ 旧北上川河口部は無堤防のため大きな被害** **⑤ 北上川や定川、北北上運河では既設堤防を津波が越えて被害**	**① 津波で車や船、油のタンクなどが流れて被害が拡大** ② 火災が発生した家屋が津波で流れて類焼 **③ ゼロメートルの市街地が浸水し、数日間、都市機能が麻痺** ④ 排水機場が浸水し、排水作業が出来ずに浸水が長期化 ⑤ 地盤沈降により、沿岸沿川では高潮による浸水被害が深刻化	① 指定避難所まで津波が押し寄せた ② 車で避難しようとして渋滞に巻き込まれて被災 ③ 防災拠点の市庁舎周囲の浸水そして、総合支所が被災して迅速な救援活動等ができず ④ 震後、電気・通信が止まり、各方面との情報の収集や伝達ができなかった



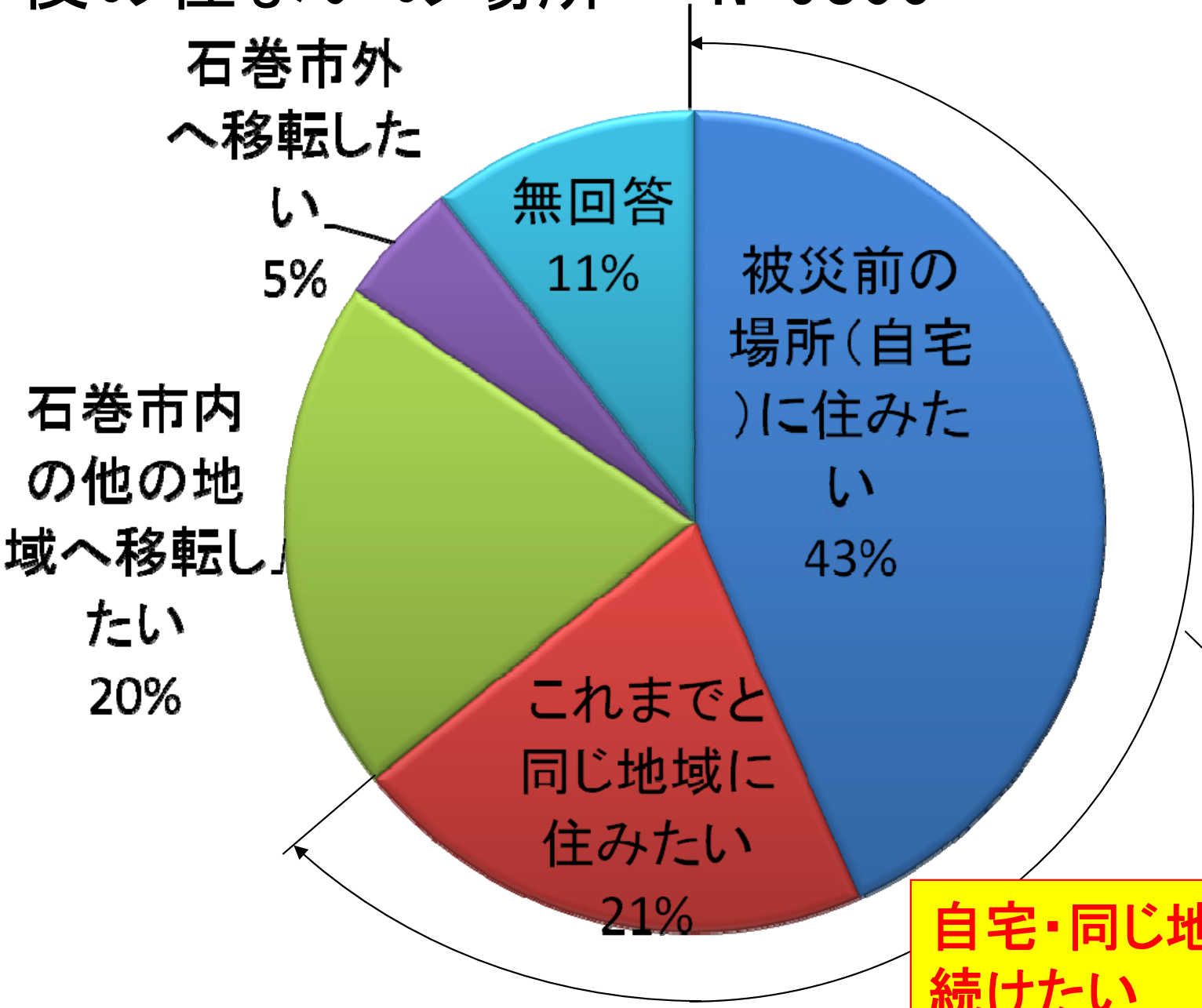
旧北上川右岸　門脇地区の被災



川から離れたJR石巻駅が5日間も津波により浸水。もともと低平地盤であった石巻市街地が、地盤沈降によってさらに低くなった。

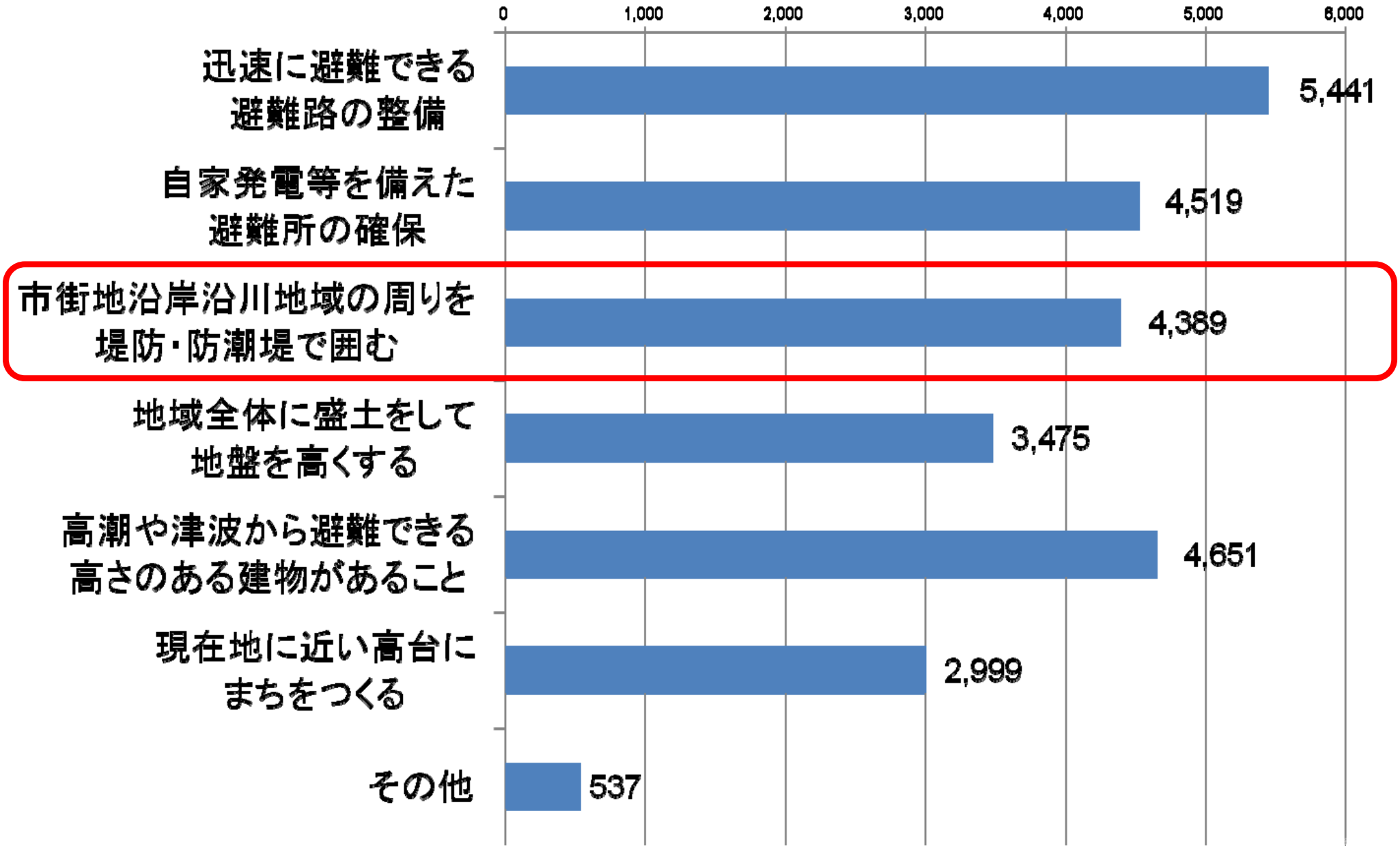
復興まちづくり被災市民アンケート（５月上旬）

今後の住まいの場所　N=9806



自宅・同じ地域に住み続けたい　64%

必要だと思う防災体制は　N=9806　※複数回答可

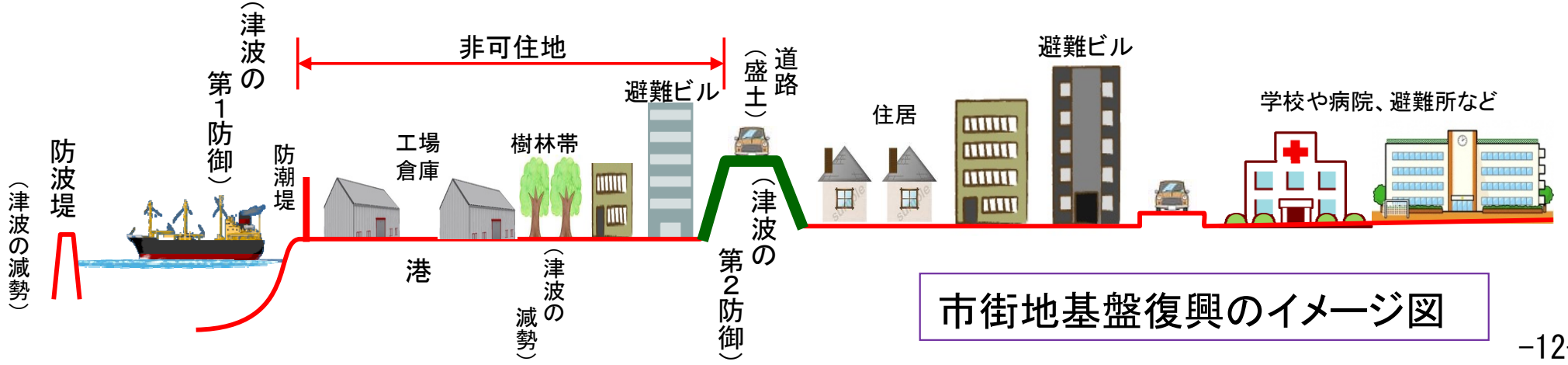


石巻市　都市基盤復興基本計画図（案）

津 波 防 災 の 基 本 は
「逃げる」

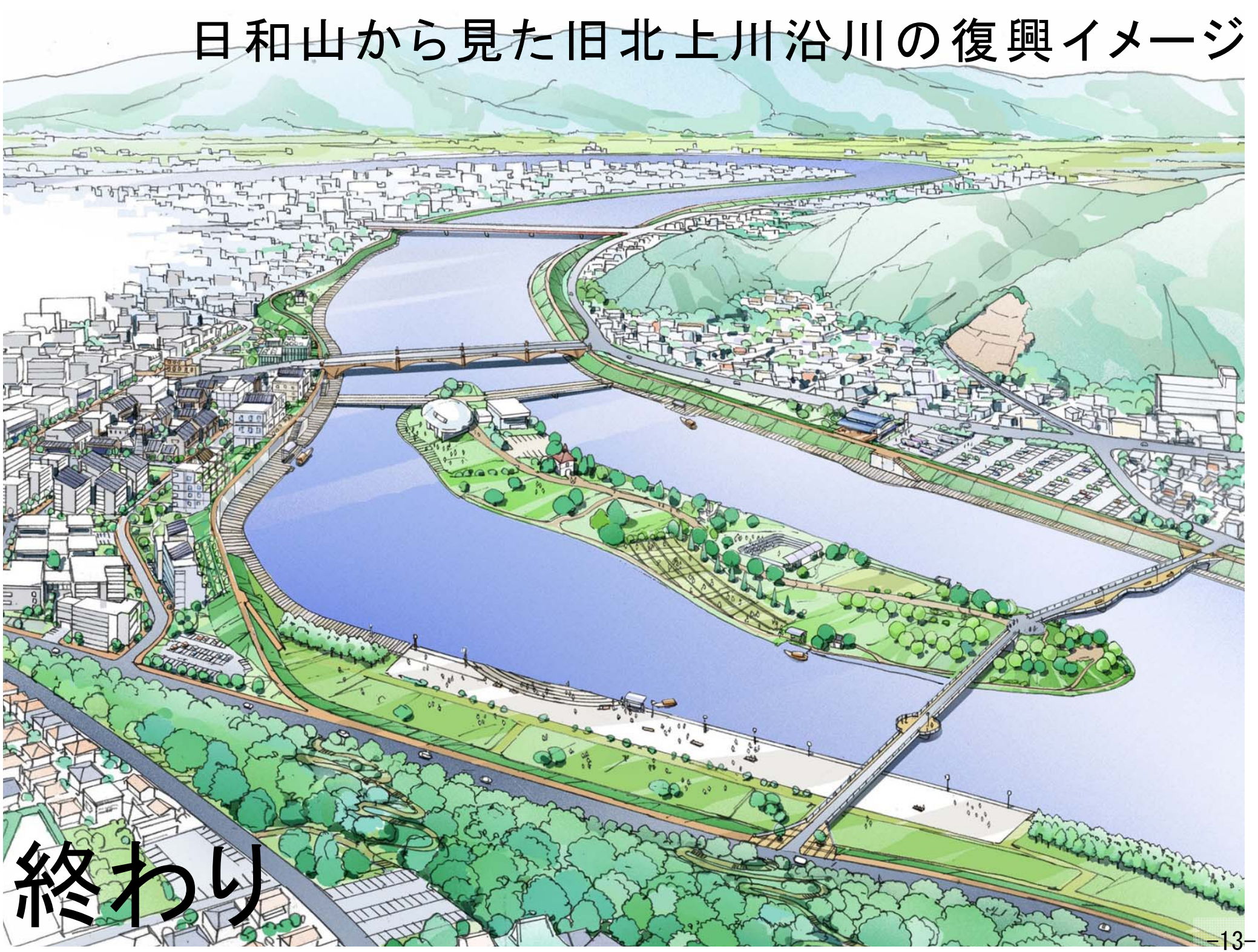


石巻西部地区被災市街地復興推進地域
第　2　堤　防
河　川　堤　防
復興新市街地の開発
第　2　堤　防
非可住地
非可住地
非可住地
非可住地
定川
旧北上川
石巻東部地区被災市街地復興推進地域
第　1　堤　防
石巻工業港
石巻中部地区被災市街地復興推進地域
石巻漁港
第　1　堤　防
津　波



市街地基盤復興のイメージ図

日和山から見た旧北上川沿川の復興イメージ



終わり